

問1	豊臣秀吉が行った「太閤検地」の内容とその意義について、最も適切な説明はどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利を収めた後、各地の大名に領地の再編を命じ、石高を確定させた。	2. 全国でバラバラだった升の大きさを統一し、一つの土地につき一人の耕作者を検地帳に登録して、年貢の負担責任を明確にした。	3. 足利義満が南北朝の統一を果たした後、有力な守護大名の勢力を抑えるために土地の面積を調査させた。	4. 織田信長が築いた安土城を拠点として、商工業を活性化させるために市場の税を免除し、自由な商売を認めた。
問2	桃山文化に関連する出来事や人物について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 葛飾北斎が「富嶽三十六景」を描き、浮世絵が流行した。	2. 貸本屋が普及し、十返舎一九などの作者による滑稽本が人々の間で読まれた。	3. 庶民の間で、質素倹約を旨とする「わび茶」が町人文化の中心として広まった。	4. 狩野永徳が屏風画を描き、千利休が茶の湯を大成させた。
問3	16世紀後半から17世紀初めにかけて、日本がポルトガルなどとの南蛮貿易を盛んに行った理由のうち、当時の戦国大名が抱いていた背景や目的として最も適切なものはどれか。（2023年 北海道公立入試 類似）			
	1. 鉄砲や火薬などの最新の武器を導入し、戦乱における軍勢力を高めるため。	2. キリスト教を新しい国教として定めて、仏教勢力の抵抗を完全に抑え込むため。	3. 朝鮮半島を経由して、大陸の進んだ稲作技術を組織的に導入しようとしたため。	4. 鎖国体制を早期に確立するために、特定の外国勢力のみを国内に引き入れるため。
問4	1587年にバテレン追放令が出された背景や理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 江戸幕府がオランダとの貿易を優先するため、平戸にあったオランダ商館を長崎の出島に移転させる準備を進めたため。	2. 足利義満が明との間で始めた勘合貿易を復活させるために、倭寇を厳しく取り締まり、キリスト教を排除する必要があったため。	3. 九州を平定した際、宣教師が長崎などの土地を支配し、キリスト教徒が神社仏閣を破壊している状況を秀吉が危惧したため。	4. 島原・天草一揆を鎮圧した後に、全国のキリスト教徒を徹底的に把握するため、宗門改を制度化しようとしたため。
問5	1587年に豊臣秀吉が出した「バテレン追放令」と、当時の対外政策の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）			
	1. キリスト教の布教を全面的に禁止し、同時にヨーロッパ諸国との貿易も一切停止させた。	2. 宣教師の国外追放を命じたが、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易は利益を重視して継続させた。	3. オランダを除くすべての外国船の来航を禁止し、貿易の窓口を長崎の出島に限定した。	4. キリスト教の信仰を武士にのみ認める一方で、農民には仏教を強制し貿易を奨励した。
問6	16世紀後半の戦国時代末期、九州の大名宗麟、有馬晴信、大村純忠といったキリシタン大名によってローマ教皇のもとへ派遣された、4人の少年からなる使節を何と呼びますか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 遣隋使	2. 岩倉使節団	3. 天正遣欧少年使節	4. 慶長遣欧使節
問7	大航海時代において、ローマ教皇から新領土の占有を認められる条件として、キリスト教の布教を義務付けられ、日本への鉄砲伝来やキリスト教伝来にも深く関わった2つの国家の組み合わせとして適切なものを選んでください。（2024年 大分県公立入試 類似）			
	1. イギリスとオランダ	2. ポルトガルとスペイン	3. イタリアとドイツ	4. フランスとロシア
問8	16世紀にスペイン王の援助を受けて大西洋を南下し、南アメリカ大陸の南端を通して太平洋を横断する西回りの航海を行い、その後、船団が人類史上初めての世界一周を成し遂げたことで知られる人物は誰ですか。（2015年 大分県公立入試 類似）			
	1. アメリゴ・ヴェスプッチ	2. マゼラン	3. コロンブス	4. バスコ・ダ・ガマ
問9	1600年に起こり、徳川家康率いる東軍が石田三成ら西軍に勝利したことで、江戸幕府による全国支配の決定機となった戦いはどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 長篠の戦い	2. 関ヶ原の戦い	3. 桶狭間の戦い	4. 本能寺の変
問10	織田信長の活躍から豊臣氏の滅亡に至るまでの歴史的な流れを整理した際、本能寺の変が起こった時期の説明として最も適切なものはどれか。（2019年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 桶狭間の戦いで今川義元を破った直後の時期	2. 徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利し、江戸幕府を開いた後の時期	3. 豊臣秀吉が関東の北条氏を滅ぼし、天下統一を完成させた直後の時期	4. 長篠の戦いで武田氏を破った後、豊臣秀吉が天下を統一する前の時期
問11	2007年に世界文化遺産に登録された石見銀山遺跡が、他の大規模な鉱山遺跡と異なり、国際的に高く評価された特徴としてふさわしい説明はどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）			
	1. 日本で初めて労働組合が結成され、賃金の上昇と労働時間の短縮が実現した発祥の地である点。	2. 採掘された銀がすべて遣隋使や遣唐使の派遣費用として、大陸への支払いに充てられていた点。	3. 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。	4. 明治以降の近代化を支えるため、当時の最新技術であった製鉄業と一体化した巨大工場群が残っている点。
問12	14世紀頃からイタリアを中心に西ヨーロッパ各地へ広がった、古代ギリシャやローマの文化を復興させようとする芸術や学問上の新しい動きを何と呼びますか。（2022年 山口県公立入試 類似）			
	1. 十字軍	2. ルネサンス	3. 啓蒙思想	4. 宗教改革
問13	16世紀、スペイン王の援助を受けて大西洋を渡り、フィリピンで本人は亡くなったものの、その船団が人類で初めて世界一周を成し遂げた人物は誰ですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）			
	1. バスコ・ダ・ガマ	2. コロンブス	3. マルコ・ポーロ	4. マゼラン
問14	大航海時代における探検家の活動について、ポルトガルの支援を受けインド航路を開拓した人物と、1492年にスペインの支援を受け西回りでアジアを目指した人物の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2021年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. バスコ・ダ・ガマ — コロンブス	2. マルコ・ポーロ — コロンブス	3. マゼラン — バスコ・ダ・ガマ	4. コロンブス — マゼラン

答え合わせ・解説

問1	答え 2 全国でバラバラだった升の大きさを統一し、一つの土地につき一人の耕作者を検地帳に登録して、年貢の負担責任を明確にした。	太閤検地では、全国で統一された「京升」を用いて土地の面積や収穫量（石高）を測り直しました。また「一地一作人の原則」により、土地の所有者（耕作者）を一人に特定して検地帳に登録したため、中間搾取を排除して着実に年貢を徴収する体制が整いました。これにより、荘園制が完全に崩壊しました。
問2	答え 4 狩野永徳が屏風画を描き、千利休が茶の湯を大成させた。	狩野永徳による力強い屏風画と、千利休による茶の湯の完成は、いずれも桃山文化を代表する事象です。葛飾北斎の浮世絵や貸本屋の普及、滑稽本の流行は、いずれも江戸時代の中期から後期にかけての町人文化（元禄文化や化政文化）の特徴であり、桃山文化とは時代背景が異なります。
問3	答え 1 鉄砲や火薬などの最新の武器を輸入し、戦乱における軍勢力を高めるため。	1543年の鉄砲伝来以降、戦国大名にとって新兵器である鉄砲や、国内で入手しにくいその原料（鉛や硝石）を確保することは、合戦を有利に進めるための最優先事項でした。そのため、大名たちは南蛮船の来航を歓迎し、貿易の利益を独占しようと努めました。キリスト教の布教を認めたのも、多くの場合、こうした貿易の利得を確保するための手段という側面がありました。
問4	答え 3 九州を平定した際、宣教師が長崎などの土地を支配し、キリスト教徒が神社仏閣を破壊している状況を秀吉が危惧したため。	秀吉は全国統一を進める中で、キリスト教が仏教など既存の権威を否定することや、宣教師を通じて土地が海外勢力に渡ることを警戒しました。選択肢にあるオランダ商館の移転や島原・天草一揆への対応は、いずれも後の江戸時代の出来事であり、勘合貿易は室町時代の事象です。
問5	答え 2 宣教師の国外追放を命じたが、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易は利益を重視して継続させた。	豊臣秀吉は、キリスト教が自身の統治の妨げになると判断して宣教師の追放を命じましたが、南蛮貿易による経済的利益や物資の調達は重視していたため、貿易そのものは禁止せず継続させました。江戸時代初期の徳川家光による「鎖国」の完成（貿易の停止や制限）と混同しないように注意が必要です。
問6	答え 3 天正遣欧少年使節	この使節は、イエズス会の宣教師ヴァリニャーノの勧めにより、伊東マンショを中心とする4人の少年が正使・副使として選ばれました。カトリック教会の最高指導者であるローマ教皇に謁見することで、日本における布教活動への支援を得ることや、少年たちにヨーロッパのキリスト教世界の発展を直接見せることを目的としていました。
問7	答え 2 ポルトガルとスペイン	15世紀後半から16世紀にかけて、未知の航路を開拓して世界進出を先導したのは、イベリア半島に位置するポルトガルとスペインでした。両国は教皇の認可のもと、到達した土地を自国の領土とする代わりに、その地の先住民などにキリスト教を広める役割を担いました。日本に初めて到達したヨーロッパ人も、この両国の関係者であり、ザビエルの来日など宗教的な活動が外交や貿易と密接に結びついていました。
問8	答え 2 マゼラン	1519年にスペインを出発したマゼラン（マガリャンイス）の船団は、南米南端の海峡を抜けて太平洋に到達しました。マゼラン自身はフィリピンで命を落としましたが、生き残った部下たちが1522年にスペインに帰還したことで、地球が丸いことが実証されました。コロンブスは西インド諸島に到達しましたが世界一周はしておらず、バスコ・ダ・ガマはアフリカ南端経由の東回り航路でインドに到達した人物です。
問9	答え 2 関ヶ原の戦い	豊臣秀吉の死後、次代の主導権を巡って全国の大名が二分されたこの戦いは、「天下分け目の戦い」と呼ばれます。勝利した徳川家康は圧倒的な権力を掌握し、1603年に征夷大將軍となって江戸幕府を開くことで、約260年続く安定した近世国家の体制を築きました。
問10	答え 4 長篠の戦いで武田氏を破った後、豊臣秀吉が天下を統一する前の時期	織田信長が鉄砲を用いた戦術で武田氏を破った長篠の戦いは1575年であり、本能寺の変はその後の1582年に発生した。信長の死後、その事業を引き継いだ豊臣秀吉が1590年に関東の北条氏を降して天下を統一しており、本能寺の変はその中間に位置する出来事である。関ヶ原の戦いや豊臣氏の滅亡はさらにその後の時代にあたる。
問11	答え 3 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。	石見銀山は、森林を完全に破壊することなく、燃料となる薪や炭を確保するために計画的な植林が行われるなど、環境に配慮した鉱山運営が行われていました。このように自然と産業が共生していた歴史的背景は、現代の持続可能な開発の観点からも重要視され、世界遺産登録の大きな要因となりました。近代化の象徴である製鉄業と関連が深いのは、同じく世界遺産の「明治日本の産業革命遺産」に含まれる官営八幡製鉄所などです。
問12	答え 2 ルネサンス	十字軍の遠征などを通じてイスラム世界から古代ギリシャ・ローマの文献がもたらされたことを背景に、神中心の中世的な考え方から、人間らしい生き方を肯定する文化運動が盛んになりました。これを「再生」を意味する言葉で表現します。
問13	答え 4 マゼラン	大航海時代の16世紀、スペインの支援を受けたマゼラン（マガリャンイス）の船団は、南米大陸南端の海峡を通過して太平洋を横断しました。マゼラン自身はフィリピンでの戦いで命を落としましたが、生き残った乗組員が1522年にスペインに帰還し、地球が丸いことを実証しました。
問14	答え 1 バスコ・ダ・ガマ ―― コロンブス	15世紀から16世紀にかけて、ポルトガルとスペインは激しく新航路の開拓を競いました。ポルトガルはアフリカ大陸を南下し、1498年にバスコ・ダ・ガマが喜望峰を経由してインドへ到達しました。これに対しスペインは、1492年にコロンブスの提案を採用して大西洋を横断させる航海を支援し、アメリカ大陸の発見へと繋げました。マゼランは後にスペインの支援で世界周航を成し遂げた人物です。